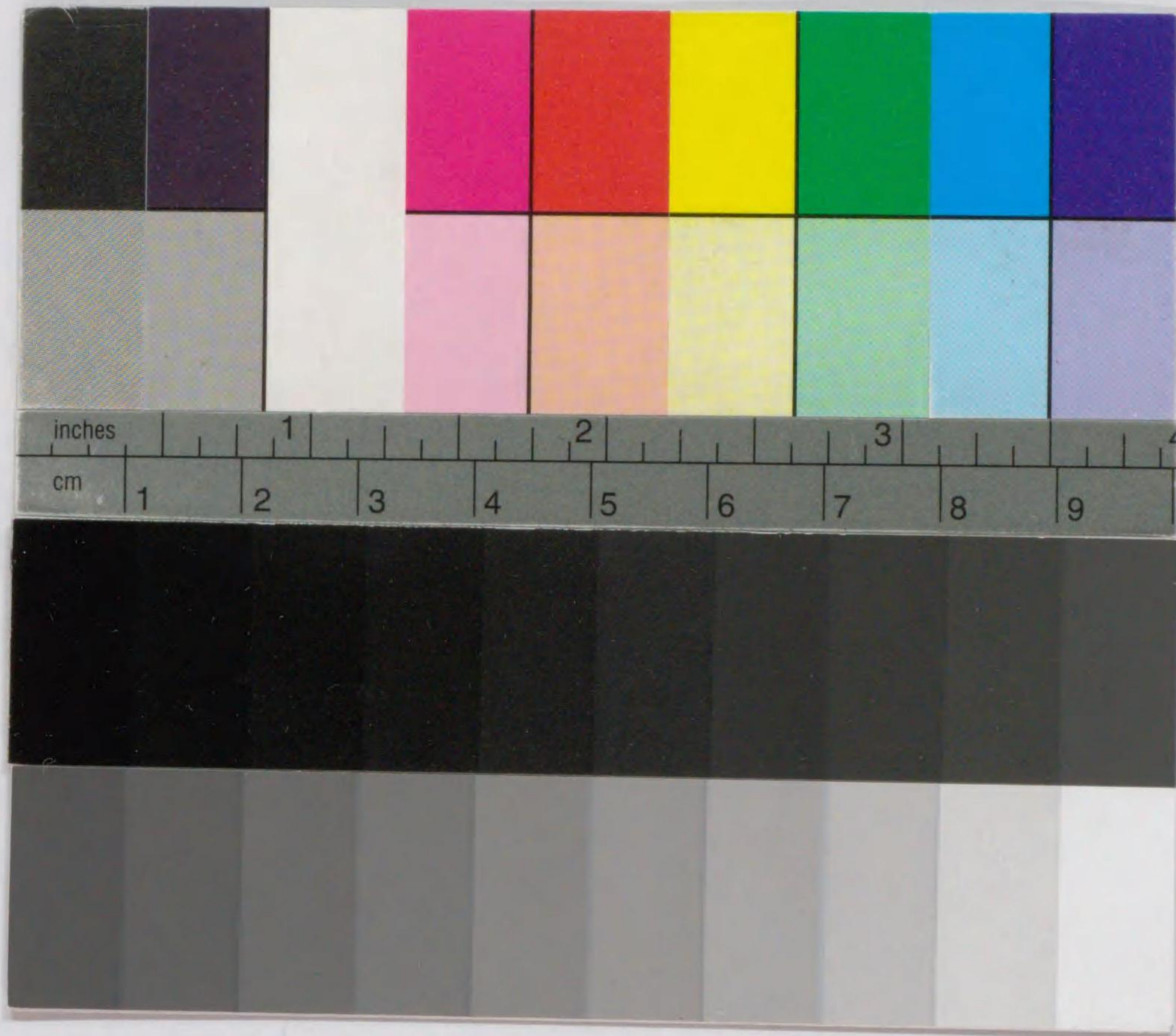


東北之
奇景
山寺名勝
寫真帖

182-401
1200800014423



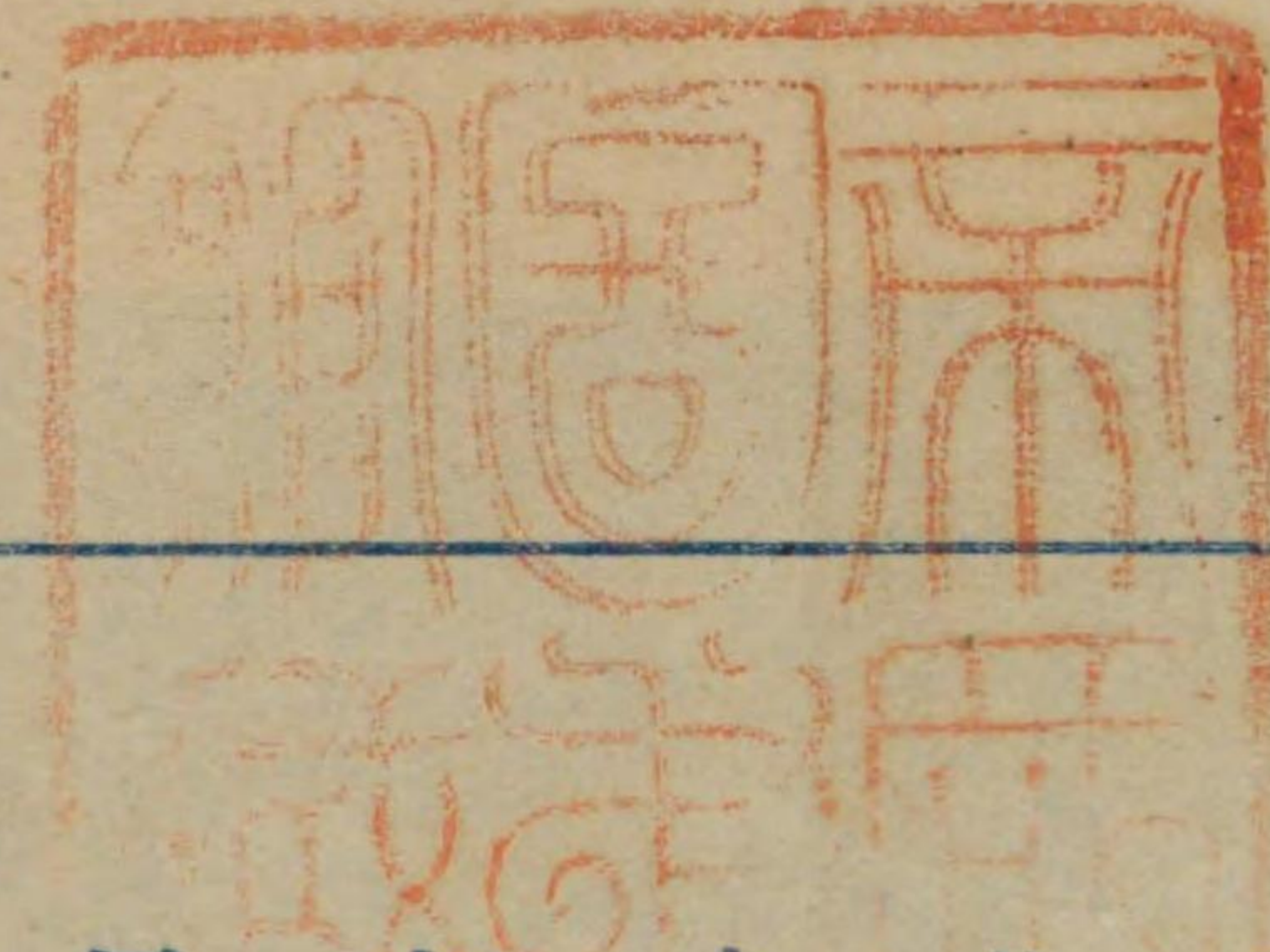
東地生奇景

山寺名勝寫真帖

和

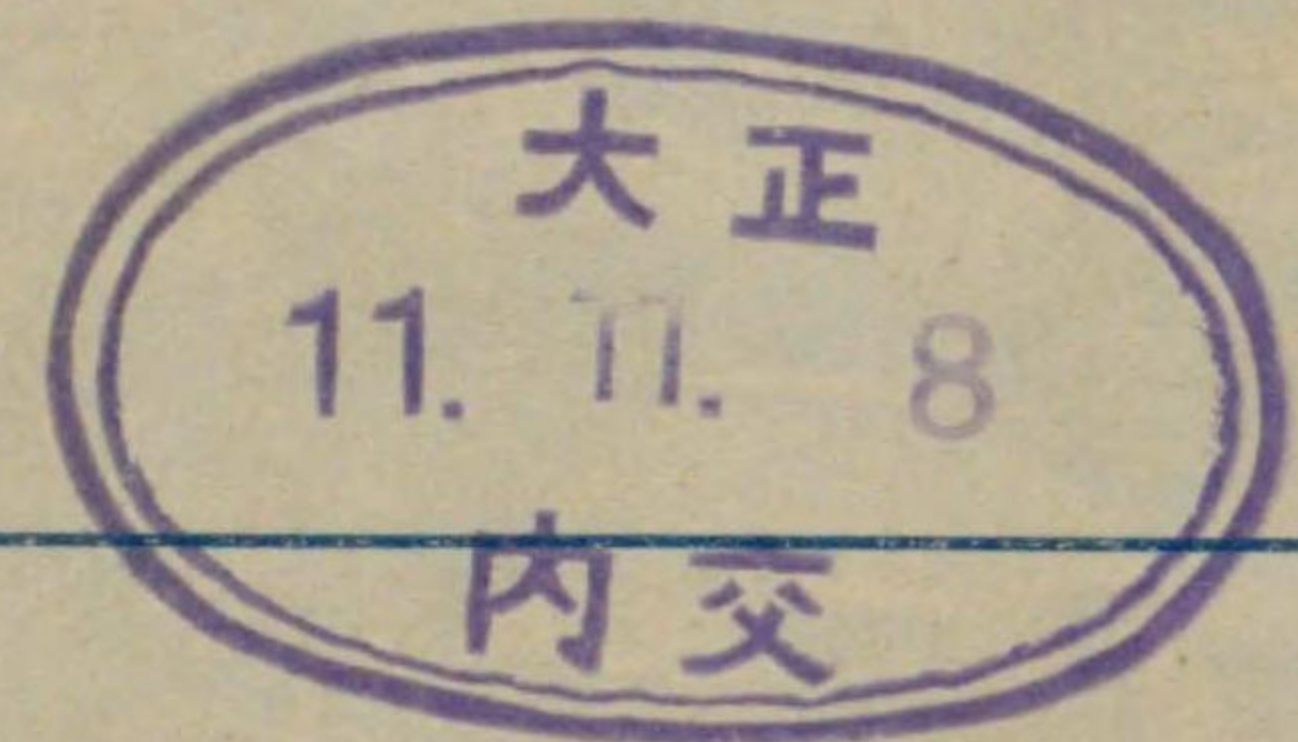


40 /
182-~~4~~



景 奇 之 北 東

帖 真 寫 勝 名 寺 山



大正
11. 11. 8

內交





山寺全景

100
101

景高寺山
湖員宮觀谷寺

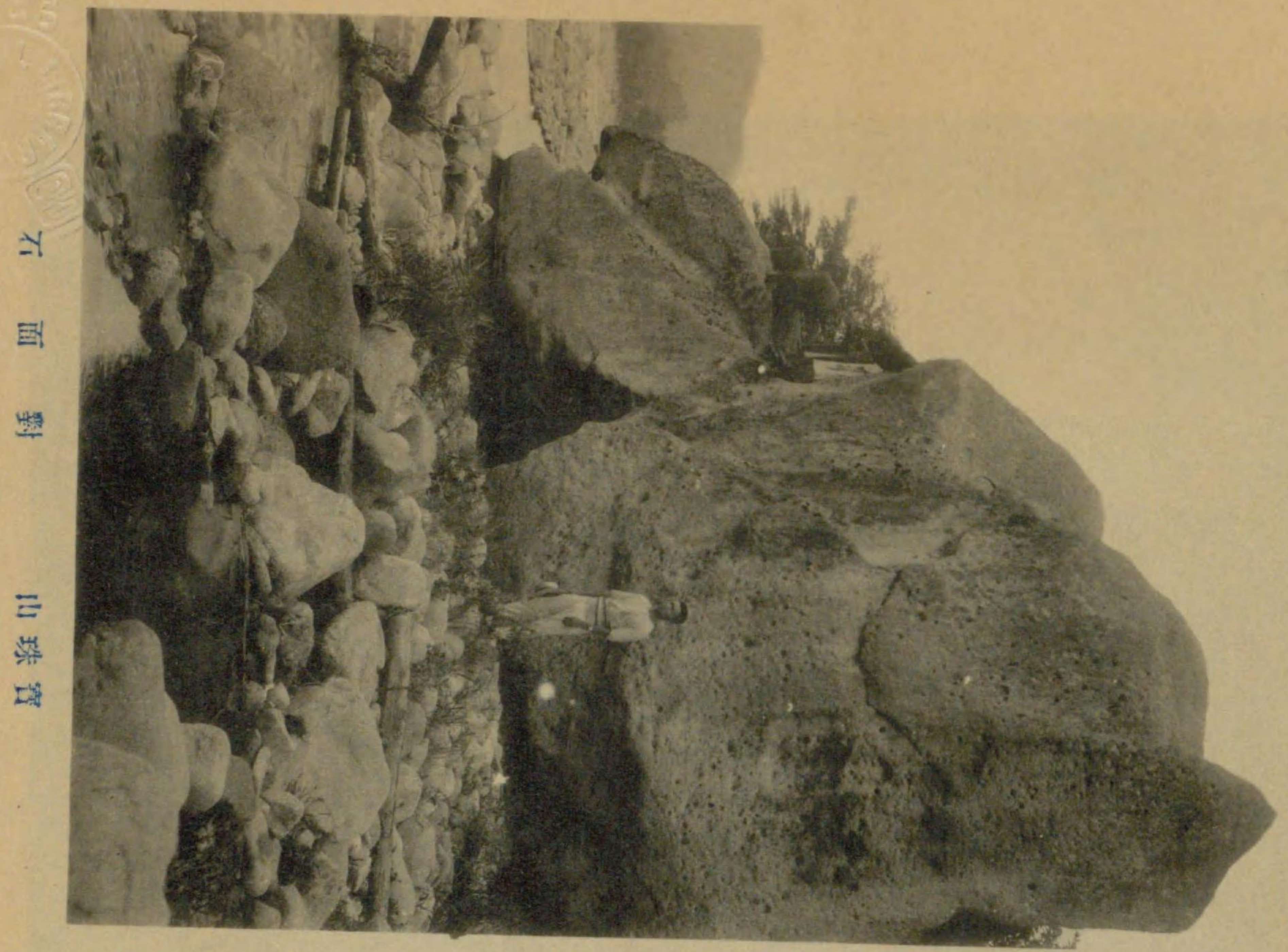
五大
湖員宮
交內



今上陛下御休憩所 寶珠山

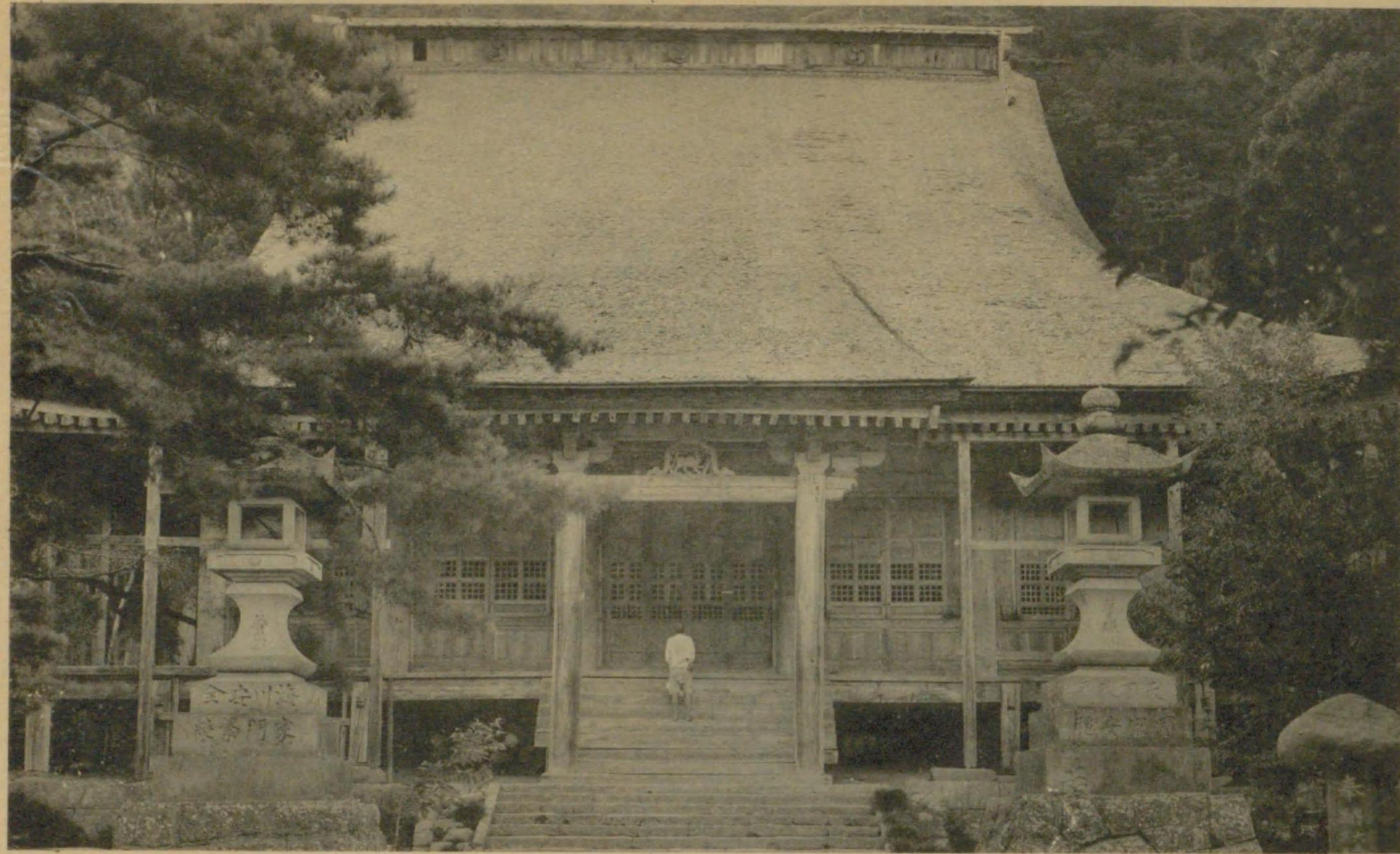


寶珠山



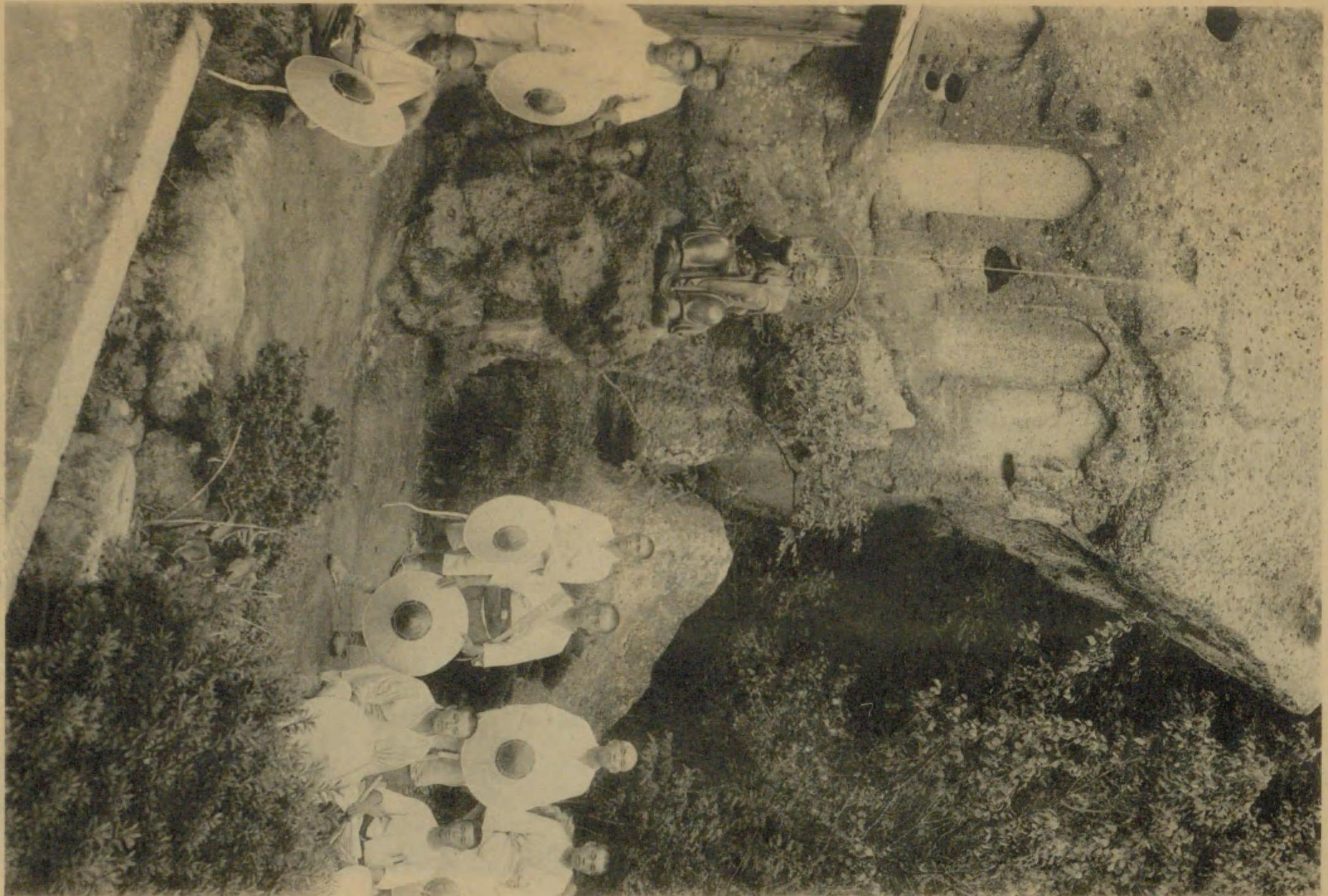
石 面 對 山 珠 寶





物築建護保別特省務内 堂中本根





寶珠山 行啓記念噴水





寶珠山 開山堂





堂 大 五 山 珠 寶



寶 珠 山 大 堂



寶珠山 天狗岩ニ至ル鐵鎖



天狗岩ニ至ル鐵鎖



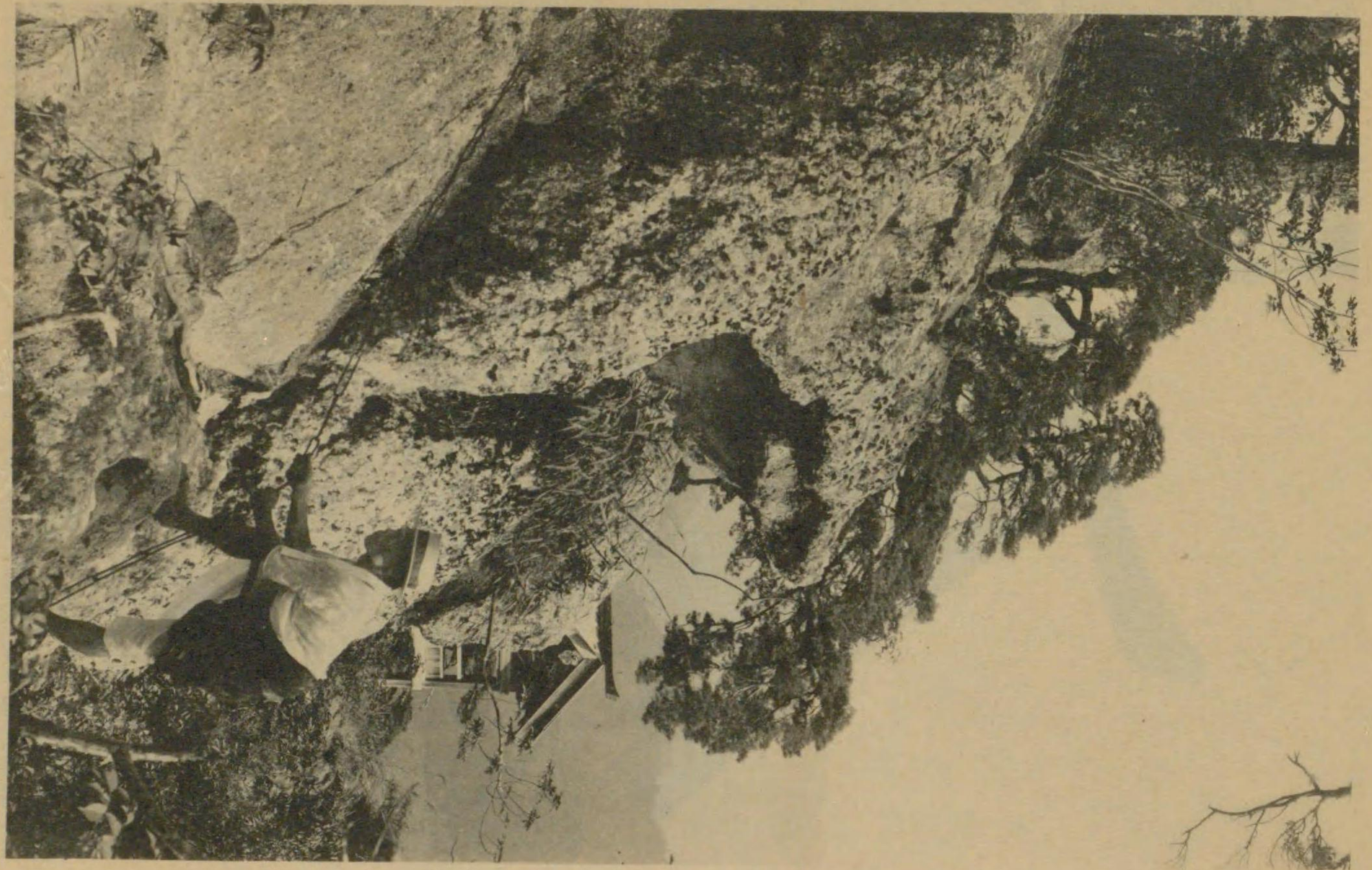
天狗岩 寶珠山



天狗岩 寶珠山

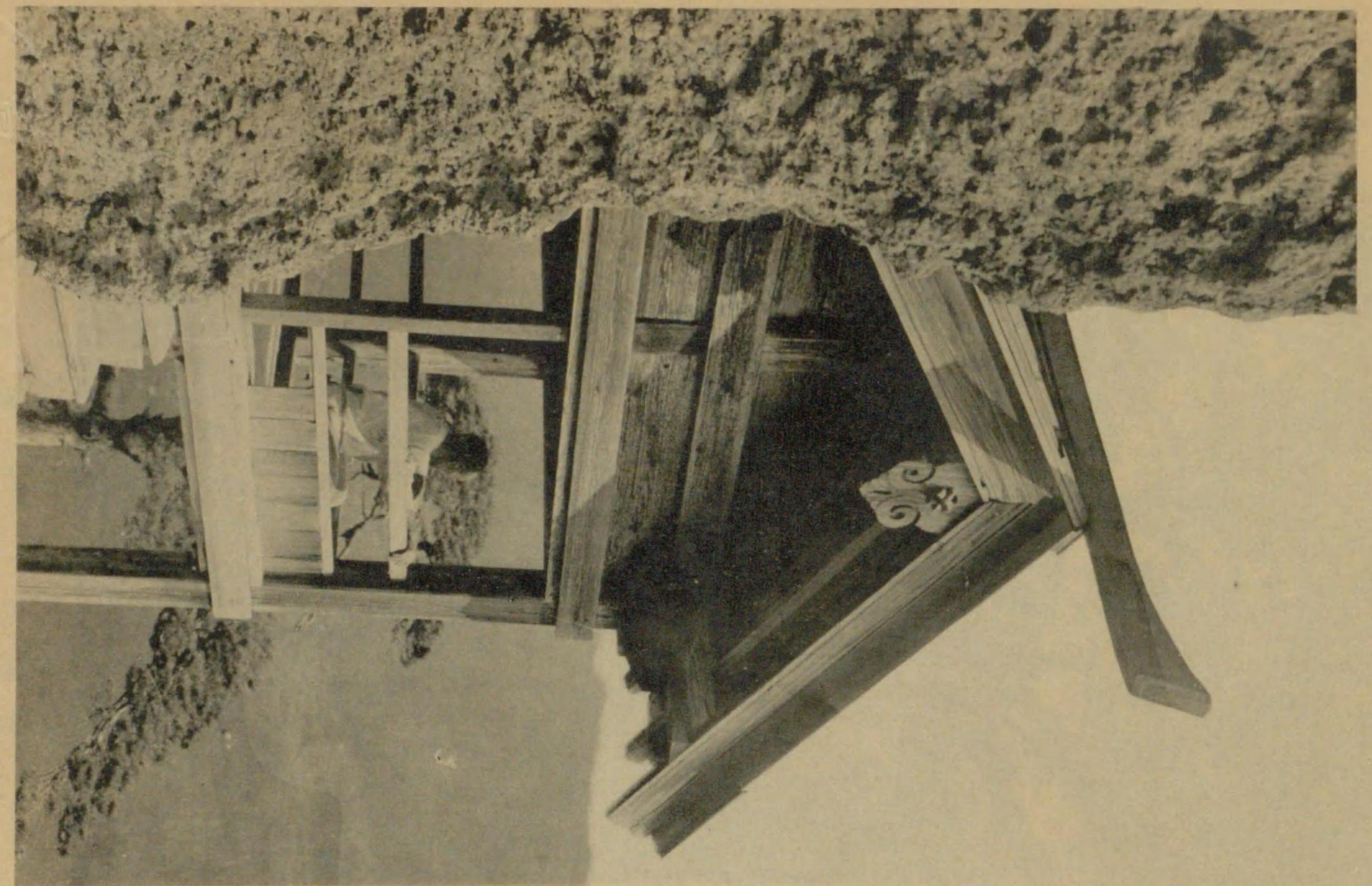
寶珠山 船內港



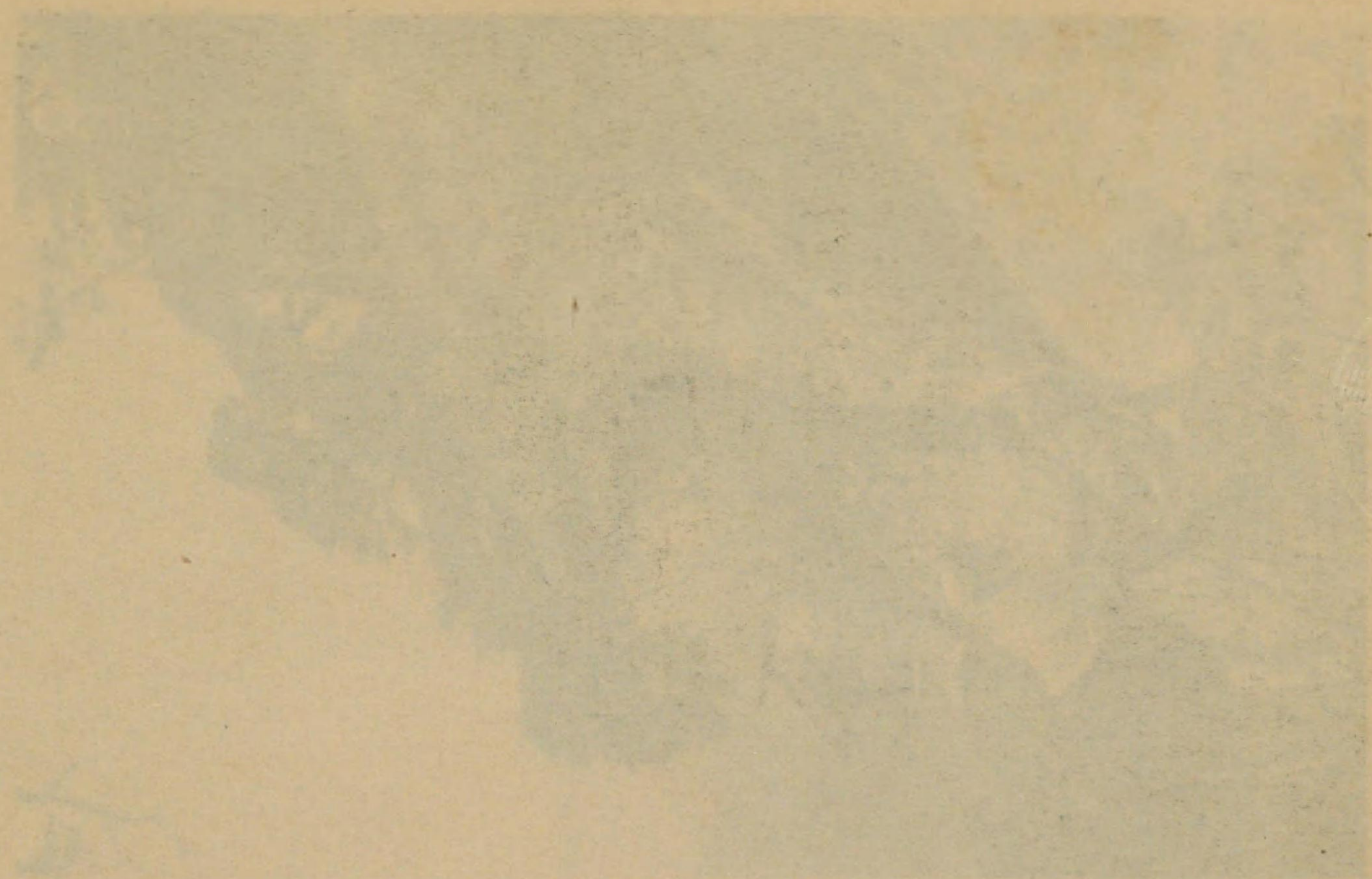


寶珠山 釋迦堂ノ鐵鑛

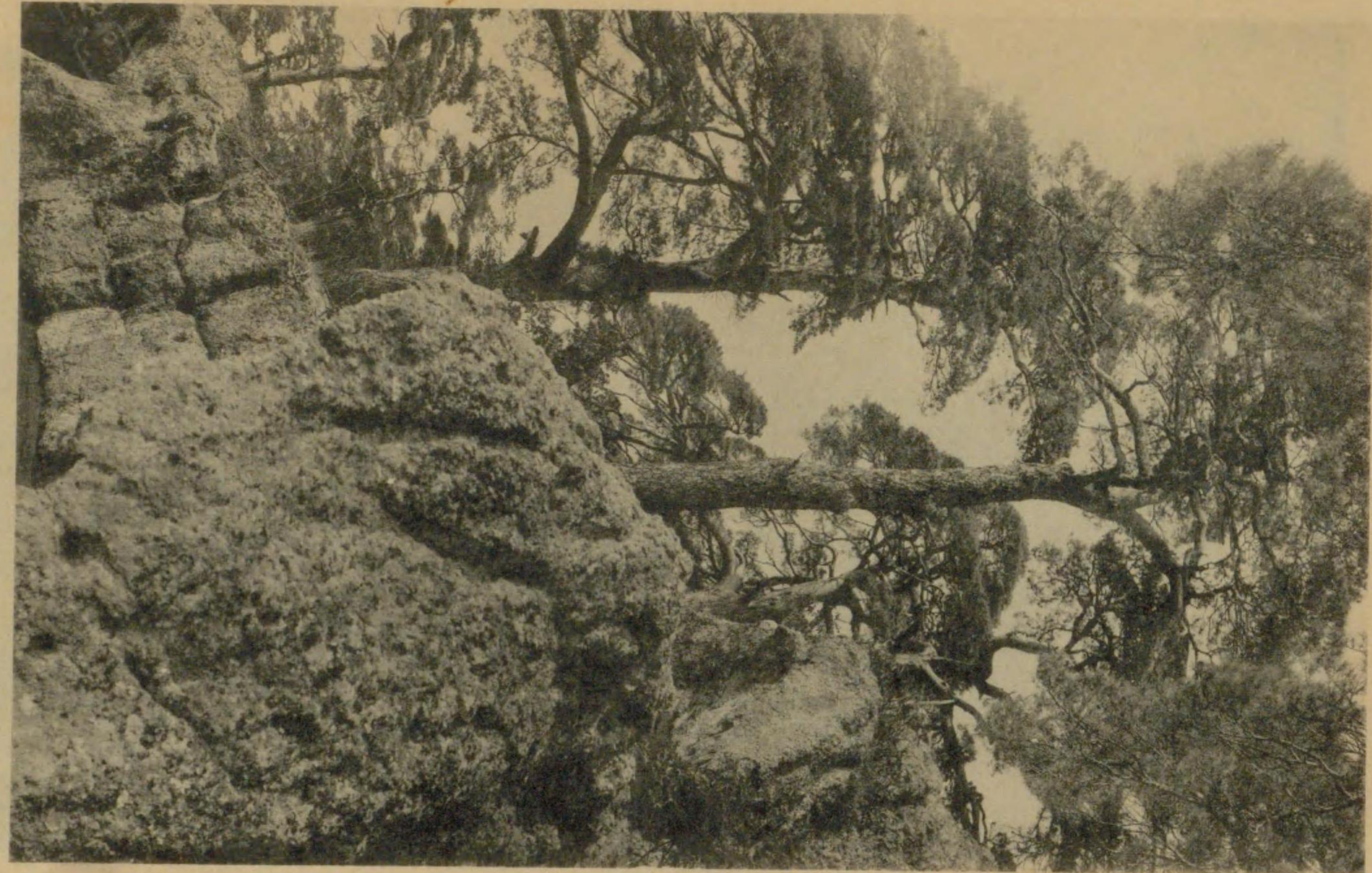




寶珠山五大堂



松老巖奇山珠寶

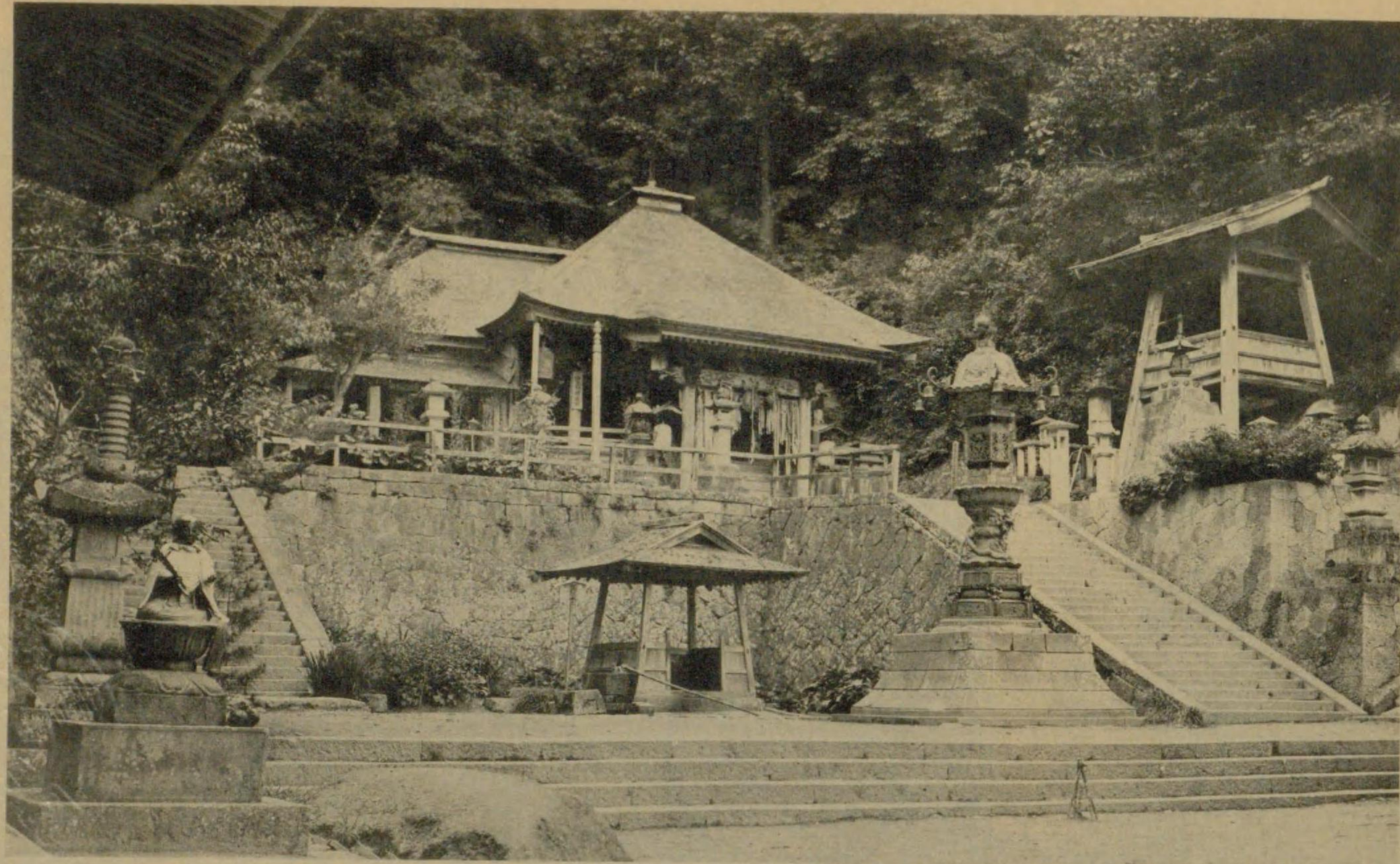


山珠寶

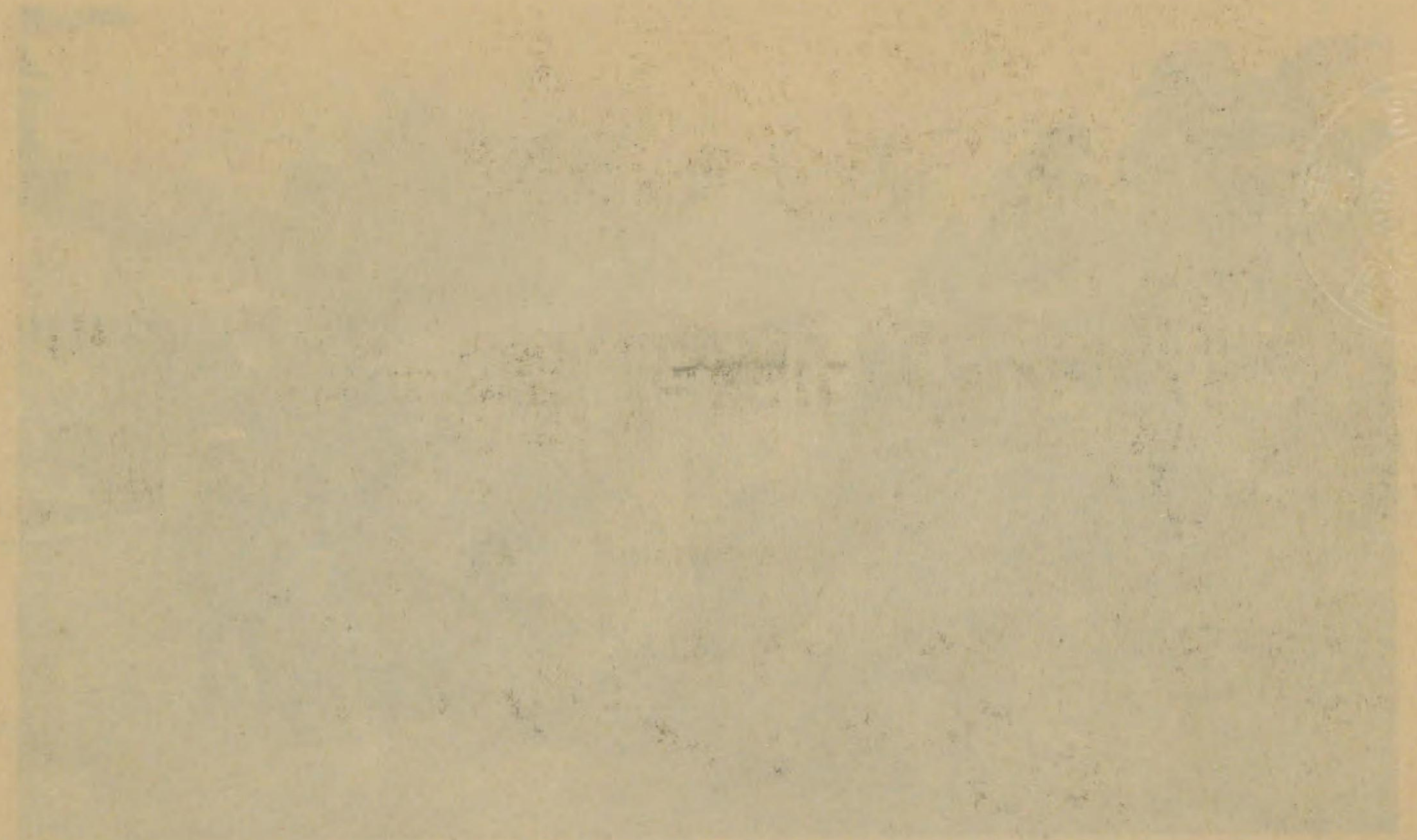


望眺ノリヨ所在行 山珠賣

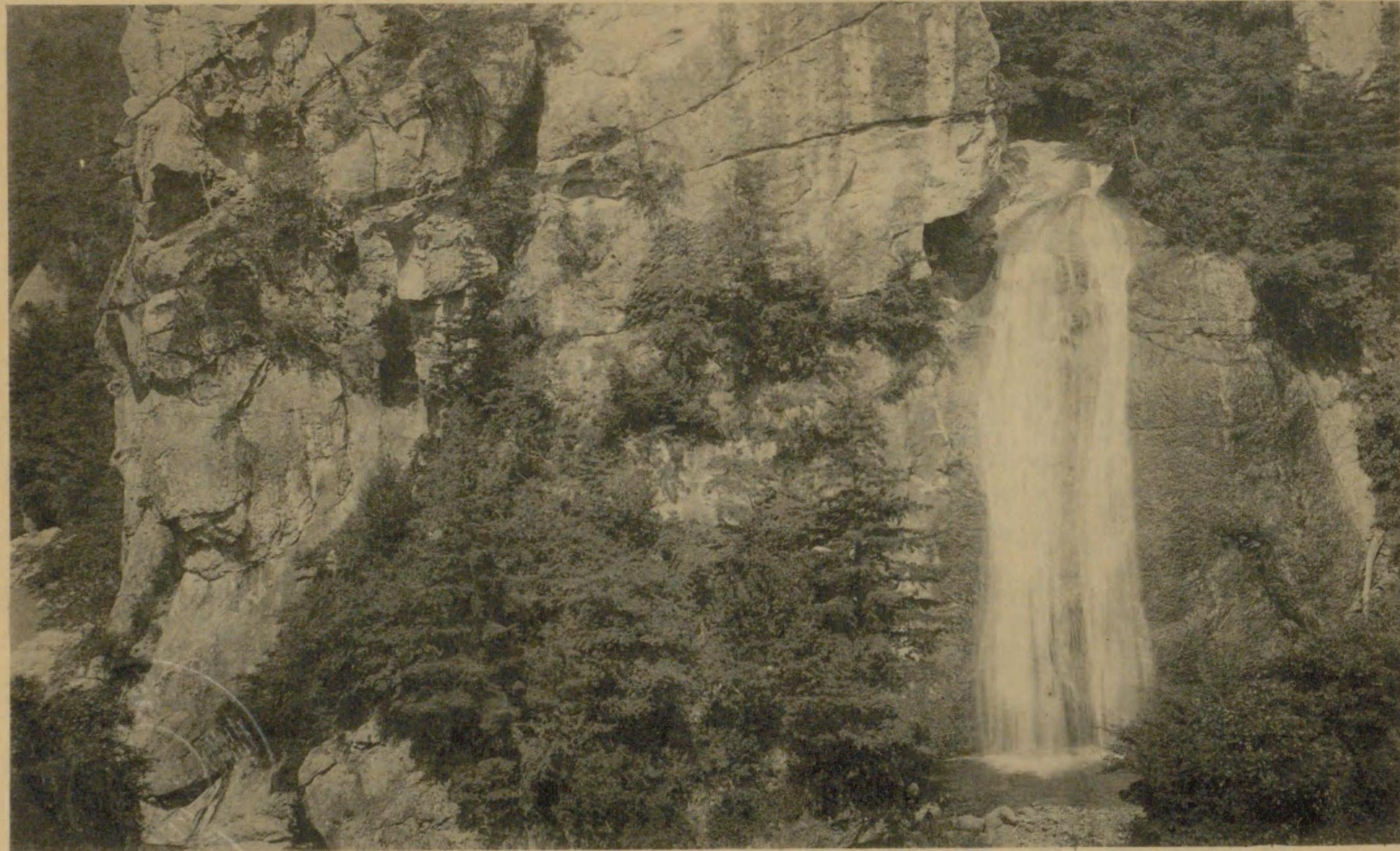




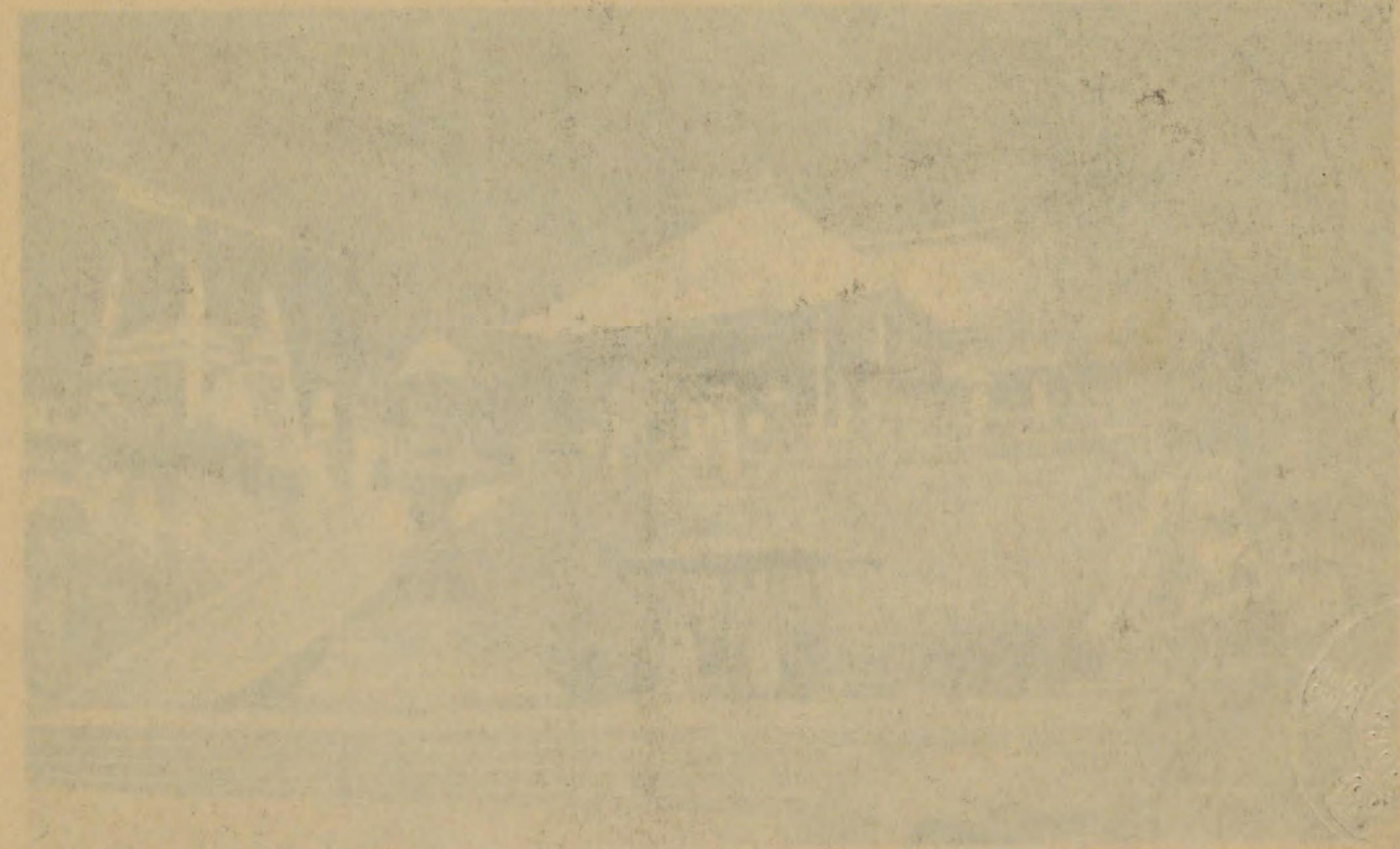
院ノ奥



宮内閣文庫蔵



山珠寶 藤花ノ瀧



富士山

参詣のしほり

◆はしがき◆ 歌人茗園をして「むかしより消えぬ御法のとも
しひはこの山寺のひかりなりけり」と詠せしめた關北隨一の名
刹寶珠山立石寺は山形市外山寺村に在る、造物主が一州の奇石
を收拾して以て其の技巧を示したやうな此の靈境は、全山悉
く第三紀層の凝灰岩から成り、或は耶馬溪の如く或は妙義山の
如く、怪奇な型体を爲してゐる岩石が隨所に露出して之を前後
左右に覆ふ、老杉古松の翠緑は彌が上にも深く、而も法燈千載
に連綿として輝き、其の森嚴の狀到底一管の筆を以て能く盡す
所であら、開基は貞觀二年天台宗第二祖慈覺大師に依るもので
其の境内は五十一萬八千九百四十七坪、山門より奥の院迄は概
ね坂路で、路面は大部分石段を以て形成されてゐる、所謂山寺の
名勝は之を纏綴して全山の色彩を愈々濃厚ならしめてゐるが、
先年鶴駕此の淨境に親しく臨んで山容水色更に一段の美を添へ
るに至つた。

◆みち順◆ 東北本線に由れば上野から福嶋まで約九時間夫れ
より奥羽線に乗り換へ約五時間にして山形に達する山形からは

三里十一町人力車や自働車の便がある又奥羽本線青森より來る時は秋田迄約七時間秋田より天童まで約六時間同所から山寺まで二里四町で其の間人力車の便がある而して此の兩通路は山寺の入口地藏堂で合して一筋となり約十二町にして山麓河原町に至る町は立谷川に沿ふて旅舎商店櫛比し雨するも風するも些の不便を感じないもし夫れ此處に憩ふて一步を踏み出だせば即ち其處は寶珠山だ。

◆寺院堂宇◆ 立石寺(開山大師自作の阿彌陀如來を安置す)奥の院(本尊は三國傳來釋迦多寶の兩尊にて左右に多門持國の二天並に十羅刹女を安置す)根本中堂(慈覺大師の創建にて自作の藥師如來及傳教大師其他の文珠毘沙門を安置す)大日堂(金剛界の大日如來を安置す)常行念佛堂(本尊は阿彌陀如來)姥堂(三途川の奪衣婆の木像安置)仁王門(嘉永中情田僧正の再建)觀明院(立石寺の卒塔婆書寫場)性相院(山上十二院の一本尊阿彌陀如來)金乘院(同上本尊地藏菩薩)胎内堂(胎内竇の側に在る地藏尊を岩洞に安置す)釋迦堂(釋迦像安置)準提堂(準提觀音を安置す)中性院(十二院の一本尊阿彌陀如來)納骨堂(英靈の齒骨を納むる處)多聖場(祖先の冥福を祈り卒塔婆を納むる處)鐘樓(鐘の口径二尺二寸五分竪四尺一寸)華

藏院(十二院の一本尊大師作觀世音)今上陛下御休息所(明治四十一年九月建築)挹翠亭(立石寺の茶寮)開山堂(慈覺大師の座像安置)納經堂(奥院書寫の法華經奉納所)五大堂(五大尊明王安置)白山祠(白山妙理大權現を祭る)奉饌齋(開山大師に奉饌する處)

◆名勝古跡◆ 對面石(立谷河畔の巨巖大師創草の始め狩人磐司に對面せし處)姫岩(清和天皇御寶塔の後に在り)阿所川(寶珠山の中谷と西谷より出づる溪流)芭蕉翁の蟬塚(翁が認めたる短冊を埋め塚を築けるもの)笠板石(姥堂の前にあり其形笠に似てゐる)香の岩(開山大師香を焚き諸佛を勸請せし處)御手掛石(大師登山の際手を掛けた舊蹟)四寸路(岩石左右より突出して路幅四寸許りなる處)東瀑(東宮行啓の際紀念として造りたるもの)彌陀洞(巨巖の中央陥りて洞となれる處)龍の口(仁王門の右にある奇巖)胎内竇(金乘院より右に折れ梯棧を躡みて攀登する處)行者戻(一名地獄谷と云ふ)座禪窟(大師座禪の舊蹟)飛梅(別に八房梅とも云ふ元龜二年の植樹)獨鈷水(山中唯一の井泉大師獨鈷を以て御加持遊ばされし際一夜にて湧出せしと傳ふ)入定岩(慈覺大師入定の場所)連理椿(陰陽の椿とも云ふ山寺七木の一)賽河原(一小窟中小石を積む)

春はオイシイ竹の餃子

<p>旅館 山寺 山寺木テル</p>	<p>旅館 山寺 米澤屋</p>
<p>旅館 山寺 ふじや</p>	<p>旅館 山寺 高砂屋</p>

秋は栗・松茸餃子

天狗岩(高さ數百丈あり巖頭に立てば遠山近水一眸の中にあり)
 蛙岩(立石寺本堂の東にあり) 魔の淵(小説白蓮紅蓮に依つて紹介された新名勝) 三大奇景(面白山、石橋、七瀧を云ふ)

◆山寺と秋◆ 天然と人爲の技巧が、最も巧みに調和された此の靈境に參詣の季節を撰ぶは野暮との詭もあらうが強いて季節を撰まば何人も「秋」と即座に之に指をそむるであらう、花の春、新緑の夏も決して悪くはないが、あの雄大な、そして繊細な紅葉の風光は直ちに以て一幅の畫面となり之を眺めて名物松茸飯に舌鼓を打つ快味は到底他に於て之を求め得られない更に栗飯の珍味、アケビの油焼等又棄て難く、お土産として明治四十一年東宮殿下の御料とあつた山寺名物モロコシ、深山の露、山百合羊羹等團欒たる家庭に備へられたら琴瑟一層相和するであらう夫等お土産品は何れも山麓川崎屋で商つてゐる。

閑しさを岩にしみ入る蟬の聲

ばせを

佛壇佛具彫製
 卸
 森谷大佛

山形市十日町

山寺產竿石

販賣元 松瀨久內 山寺川原町

大正十一年十月廿一日印刷
 大正十一年十月廿三日發行



發行兼編輯者
 山形縣山形市香澄町字大寶寺六八二
 丸山陸羽太郎

印刷者
 山形縣山形市香澄町字大寶寺六八二
 丸山陸羽太郎

印刷所
 山形縣山形市香澄町字大寶寺六八二
 山形寫真印刷株式會社

發行所
 山形市驛前
 山形寫真印刷株式會社

發賣所
 山形縣東山郡山寺村
 對面石商店

林 森
 谷 山
 石 山

石 山
 石 山

182
40



